



三木高 自治会新聞

令和 2 年 9 月号 (No.167)

発行 三木市高齢者大学学生自治会

発行責任者 自治会会長 岡田 修

編集者 自治会新聞編集委員会

発行日 2020(令和2)年 9月1日

<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>

広報委員会総会報告

令和2年度の広報委員会総会が6月26日(金)午後1時から研修室2で開催されました。広報委員会は三木高齢者大学の広報担当という大きな役割を担っており、「自治会新聞編集委員会」、「ホームページ作成・運営委員会」、「パワーポイント作成委員会」の3つの分科会から構成されています。各委員会より現状の報告がなされ、下記の意見が提出されました。

「自治会新聞編集委員会」からは、記事の内容が学校行事、講座、学年通信などマンネリ化との声も聞こえますが、学び舎の生徒間のみならず地域社会との情報交換の媒体として欠かせないものであります。ひろば、投稿欄の実ある有効活用方法について、皆様の意見を聞き、引き続き検討が求められるところです。そのほか個人情報の中で、今後、住所及び電話番号、メールアドレス等十分に注意し取り扱ってほしいとの意見が出されました。

「ホームページ作成・運営委員会」からは、現状として学生の皆さんが余りホームページを見ていないのではないのでしょうか！ 昨年から学校案内、行事、講座、自治会新聞、クラブ活動と早いうちに記事、内容を更新しております。しかし、今年はコロナの影響で活動が止まり、1部を除き昨年版のままで更新が出来ておりません。

「パワーポイント作成委員会」からは、クラブ紹介のパワーポイントは、令和2年4月2日のオリエンテーション版は完成しました。今年の問題点から来年分は、パワーポイントの発表内容を変更する場合は、クラブ内の確実な引継ぎと、期限を守ってほしいとの報告と依頼がありました。

自治会会長 岡田 修

教務副主任着任あいさつ

三木市高齢者大学

教務副主任 田中 達也

8月1日より教務副主任を務めさせていただくことになりました田中達也と申します。まだまだ、慣れていないところがたくさんありますが、温かく見守っていただき、滞りなく仕事をこなしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、三木市高齢者大学に関わらせていただくことになり、改めて「生きがいのある人生」とは何なのだろうかと考えることが多くなりました。退職を機に、これまでできなかった旅行や趣味を大いに楽しもうと思っていましたが、何かそれだけでは満足できない部分もありました。これまでの人生で経験したことのないことを積極的に経験する良い機会かなあと感じ、今回このような形となりました。

多くの方々との出会い、新しい知識や経験に触れることのできる環境は、これからの人生にとって大きな糧となるものだと考えています。性格としまして、基本あっけらかんとしていて、何事も前向きに考えるようにしていますので、気軽に声をかけてください。みんなで、明るく楽しく学ぶ高齢者大学としていきましょう。そして、共に生きがいのある人生を満喫していきましょう。



第 29 回 体育祭のお知らせ

新型コロナウイルスのため、スタートの準備が遅れた体育祭、これが最初で、最後の広報になりましたので、体育祭のコロナ対策をどのように行うかをお知らせします。まず、コロナリスク判定を行って、開催場所を三木勤労者体育センターから高大運動場に切り替えました。

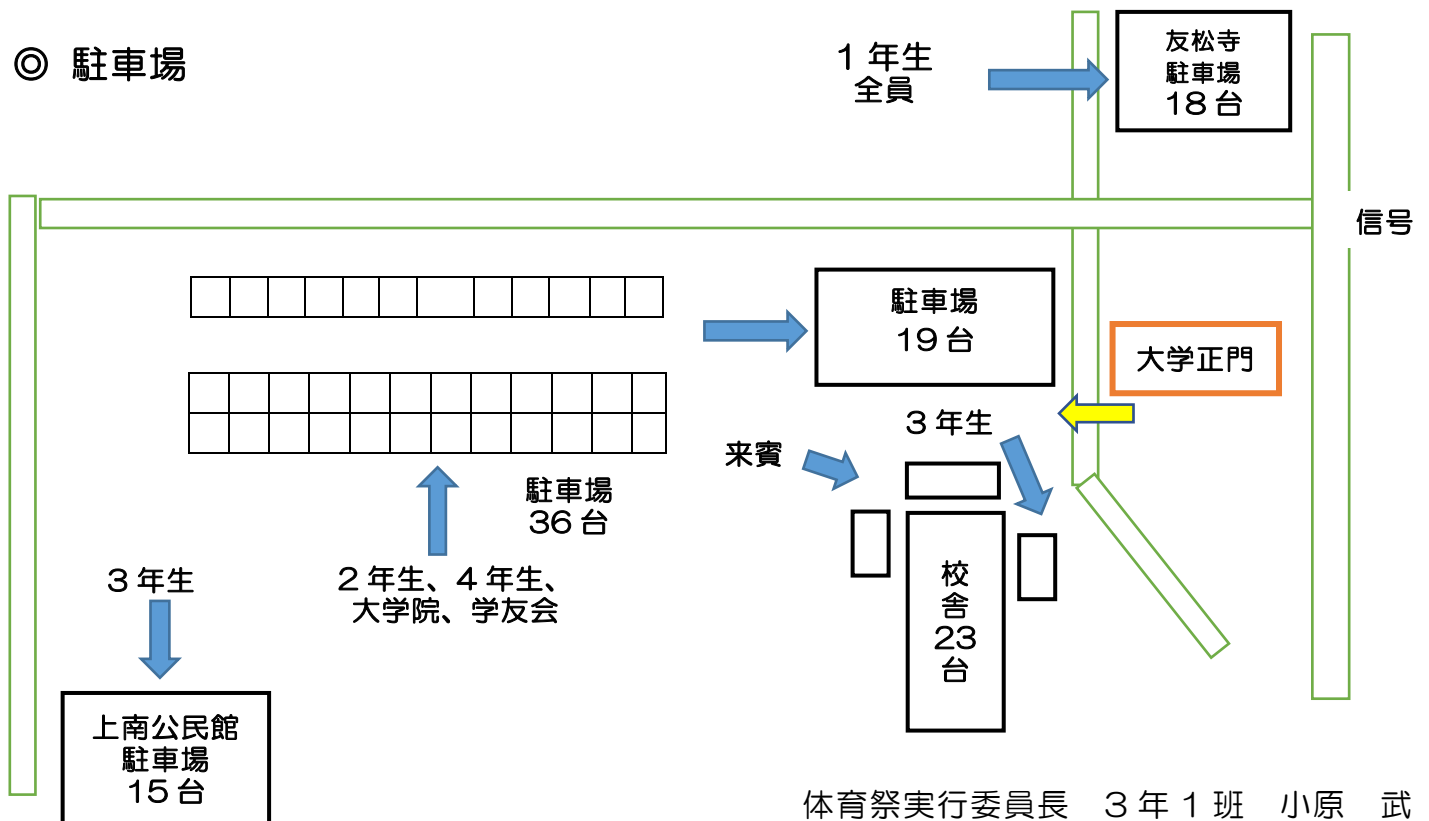
10月2日（金）の体育祭当日には、出場者、来賓者の健康状態を把握するために、アンケート用紙を提出していただき、記入内容や体温に基づき、感染者のリスク判定を行います。救護担当の元看護師の方をお願いして、詳しいチェックをしていただきますので、場合によっては参加できない方が出た場合は、ご容赦をお願いいたします。

また、三密防止のため、出場者はマスクを着用し、人との間隔は2メートルを保ち、競技用具のリレーも木製台に置いて行います。審判員は競技用具の消毒を行い、競技者は出場前・後にテントで手指の消毒をしていただきます。最後の種目「紅白玉入れ」は、人数を1チーム10人に半減、時間も30秒に短縮。競技用具の消毒を行い、選手は手袋をして競技します。もちろん、マスク着用で2メートルの間隔を取りながら行います。柔軟な対応を運営方針の一つにしているので、仮に出場者が数秒間近づいたとしても問題はありません。

しかしながら、対面の会話による感染リスクが、極めて高いことが分かってきましたので、ご注意をいただきたいのですが、あまり静か過ぎるのも体育祭らしくないので、エール交換の時だけはリーダーのみ、5メートル離れて青空に向かって大声を出しても結構です。しかし、その他の方はマスクを着用し発声はしないで、拍手、太鼓などで盛り上げていただきたいと思います。

今も閉塞感の残るなか、生活の引き出しを一つでも多くするイベントは、学生生活を実のあるものにする筈です。その達成のために、今年の体育祭は、最初から最後まで「新型コロナ対策」に終始し、実行委員をはじめ、審判員、出場者全員の方々が新型コロナと向き合う「オール高大の体育祭」になります。皆様のご協力をお願いします。

◎ 駐車場



体育祭実行委員長 3年1班 小原 武

秋季清掃活動のご案内

日頃、教養講座、専門講座、クラブ活動を通じて「生きがい学習」の場として利用している校舎、体育館、グラウンドへの感謝、並びに清潔な環境づくりを目的として、「春季、秋季清掃活動の日」が設けられております。春は、残念ながらコロナ禍で中止になりましたが、今回 コロナウイルス対策を十分に行い、3密にくれぐれも注意しながら活動したいと思いますので、ご協力をお願いします。

- 1、実施日時 令和2年10月16日（金）9時30分～11時30分
- 2、作業場所と担当区分（詳細は、1階 掲示板ポスターでご確認ください）
 - ① 校舎内1, 2階 高大生の屋内担当者：雑巾（タオルも可）1枚持参
 - ② グラウンド 高大生の屋外担当者：除草用コテ等持参
 - ③ 体育館 大学院、学友会の方

具体的な作業方法などは、各学年の実行委員で調整を行います

- 3、通学バスは、1便のみ運行。

登校 文化会館前駐車場 8：17 発 ⇒ 大学 9：17 着
下校 大学 11：45 発

詳細時刻は各自、ご確認ください。

今後、実行委員会を開催し、具体化してまいります。ご不明な点は、各学年の実行委員に遠慮なくお尋ね下さい。

秋季清掃活動実行委員長 3年3班 尾上 勸

学年通信(4年生)

5月のスポーツデーは実施しなかった。多くの4年生が絶対2連勝との思いを胸に、新年度を迎えていました。何しろ昨年は圧倒的な優勝をとげ、カラー刷りの号外まで発行された程ですから。

しかしながら、その後の学校からの通信では、再開校は6月16日、7月の意見発表会は中止で“おうちに居よう”でした。登校日の班長会議で、学年全員の健康は確認されたが、研修旅行はコロナ対策の為コストが高くなる等で取りやめと。

続く学年集会での4年生最大のテーマは卒業旅行をどうするか。既に2泊3日の旅程も決まり、旅行会社からは見積も入手済です。しかし皆様からは慎重な意見が多く、準備委員会の取り纏め者として、中止を選択せざるを得ませんでした。

7月に入り、10月の体育祭は規模を縮小して高大の運動場で開催することで実行委員会が計画を進めるとのこと。コロナがどうなっているのか？熱中症や台風の心配もあるし、との影の声も少なからず有る様です。4年生としてどんな思い出が作れるか？これから思案ですが、一案として10月頃にグラウンド・ゴルフ遠征大会が提案され、3班の担当で具体策を9月に発表します。

最後に皆様にエールを送ります。フレイフレイ高齢者、コロナと共存、他人に迷惑掛けません！ポジティブ、ポジティブ、熱中症を乗り越えて、目標に向かって今日も元気に生き抜くぞ！フレイフレイ高齢者。

4年4班 渡邊 洽

ひろば(1)

「ウイルス怖い・パソコンも人間も」

表題は友の句である。コロナ・コロナで振り回され毎日がすっきりしない日々。ついこの間迄マスク・アルコール除菌液・体温計等売り場から消え、拳句の果てトイレットペーパー・ティッシュペーパー・食料品等々無くなると、右往左往させられ、こんな状態ではいけないと、自身を奮い立たせ、自給自足の生活に目を向けよう！と考えさせられたコロナ騒動であった。

この自粛期間中に断捨離・洋服ダンス・クローゼット・押入・倉庫の整理・焼却場に軽トラに積み4回、新品同様のものは捨てるのも忍び難く、欲しいと言ってくださる友のもとに感謝の宅配、永年生きてきているので不用品が山積。今この時期に整理整頓し身の回りを少しでも軽くしようと頑張っている。夫にも片付けを勧めているが、増えることの方が多く……最近ようやくカメラが沢山あるのに気が付いたのか「僕が死んだらいつも買っている店に持って行けば買ってもらえるよ」と、

イヤイヤ生きているうちに早く処分してよ～～～。処分するのは??今でしょう!!と言いたい。

この度の特別定額給付金皆さんは何に使われたのでしょうか。貯金?もいいかも。でも折角頂いた給付金、有効に使いましょう。私は写真部に入部・カメラが重いのでミラーレスカメラとカーボンの三脚を買いました。夫の給付金も有り難く頂き代金的にはセーフ。次は各市展荒しで頑張ろうかな?と心密かに思っている所です。

1年1班 吉田 曙子

ひろば(2)

◇ 第3回 ワンダフル30 グラウンド・ゴルフ大会開催 ◇

私達3年生は、1年生の10月にG・G同好会を発足し月1回程度の練習を重ね、昨年の春季G・G大会に臨みましたが、優勝には程遠い4チーム中3位でかろうじて新1年生に勝てたものの散々たる成績でした。来年こそは優勝と、翌月より練習も月2回に増やし、各自がそれぞれ目標を明確にして、暑い日も寒い日も練習に励み、令和2年度の大会に備えて来ましたが、3月には出場者も決まり練習にも熱が入ってきた折に、突然今回の「コロナ騒動」で休校になり、5月21日に予定していた大会も中止になってしまいました。



秋の体育祭の優勝に続き、春のG・G大会優勝の2冠を狙っていたのに残念!そんな中、自然発生的に3年生だけでも大会をやるということになり、7月21日に青山公民館で開催することとなりました。急に決めたにも関わらず、参加者を募るとなんと3年生33名中30名のエントリーがありました。当日は前日の雨が嘘のように朝から快晴で楽しくプレーすることができました。個人賞・飛び賞を用意していましたが、幹事の方が賞品の当たらない人は気の毒と家で栽培しているピーマン・トマト・玉葱を配り参加賞として全員に賞品が当たりました。

ちなみに成績は、昨年の高大G・G大会と同様に集計すると45ポイントアップで昨年度優勝の3年生を23ポイント上回っており、大満足の大会でした。

3年1班 細見 明夫